

第3節 環境情報の提供と基盤整備

1 環境情報システムの運用

本県では、平成4年度に、自然環境、公害、生活環境などの情報を蓄積し、これらの検索や解析をして、地図やグラフなどの形で出力する独自の環境情報システムを開発しています。

環境情報システムには、次の項目のデータが入っています。(表2-5-7)

表2-5-7 環境情報システムのデータ

大分類	中分類	小分類
気 候	気 象	気温
		降水量
自然・文化環境	植 物	特定植物群落
		藻場
		現存植生図 など
		大型ほ乳類
	動 物	鳥類
		昆虫類
	自然保全	国有林
		保安林
	文化財	史跡・名勝・天然記念物
		埋蔵文化財包蔵地
重要伝統的建造物		
公害・生活環境	大気汚染	SOx濃度
		NOx濃度 など
	水質汚濁	BOD濃度
		COD濃度 など
	騒 音	騒音規制地域
	振 動	振動規制地域
	悪 臭	悪臭規制地域
水 道	水道箇所	

2 広報媒体による情報提供

本県では、県のホームページにおける環境情報の提供をはじめ、環境白書等の刊行やパンフレット等の作成・配付、各種広報媒体の活用などを通じて、環境に関する施策や事業等に関する情報提供を行っています。

図2-5-2 「とくしまの環境」ホームページ



3 今後の取組の方向性

今後も、環境情報システムの整備等に努めるとともに、ホームページ、環境白書等、各種広報媒体による情報提供体制の整備を推進します。